

神代から昭和までの歴代天皇はじめ、皇室、皇族の「りよう陵」。
ごりよう御陵・みささぎ山陵」と呼ばれる墳墓と、その他の皇族を祀る
おんはか「御墓」をオールカラーで紹介、解説を付す。公的に定
められている陵墓のほか、伝承陵墓、皇統譜から外され
ている南北朝時代の準天皇陵も収載。歴史愛好家、郷
土史家、公共図書館必備の一冊。

皇室陵墓

◎著者—寺田近雄

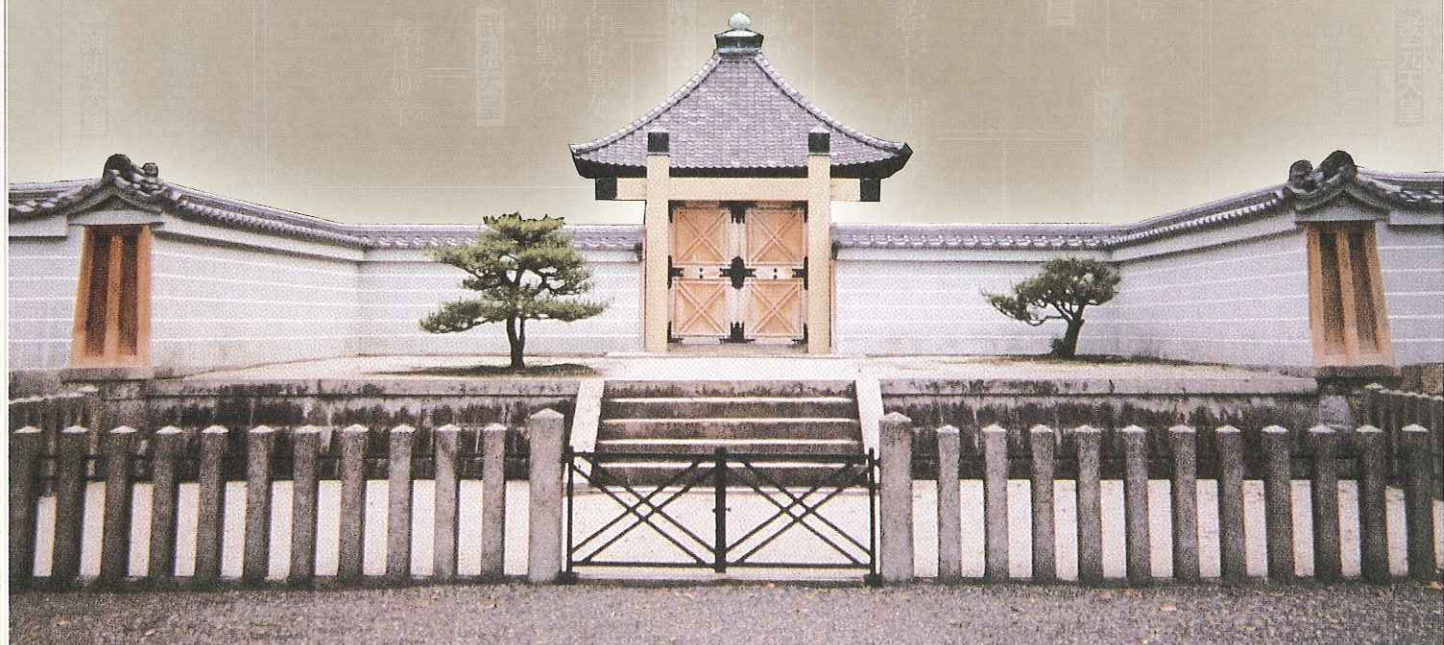
◎体裁—B5判・上製・266頁「オールカラー」

◎定価—本体二〇、〇〇〇円＋税 ISBN978-4-8350-7081-0

◎刊行—二〇一二年二〇月

◎発行—寺田事務所

◎発売—不二出版「取扱図書」



第一代 神武天皇

じんむてんのう



御名：神日本磐余彦尊
(かむやまといわれひこのみこと)
所在：奈良県橿原市大久保町字ミサンガイ

天孫第三代鸕鷀草葺不合尊の第4子。兄の五瀬命らと日向を発し、豊前、筑紫、阿岐、吉備を20年かけて東進、浪速に上陸するが地元軍の抵抗にあい敗退。五瀬命は戦死。南に迂回して熊野より上陸し、熊野山中を各所の土族と戦いながら北上、吉野から大和に入国し、鳥見山で建国宣言をした。

畝傍の村(かみ)の年75歳の為、畝傍に建てられたの改修(1898)の改修形植輪再び埋考古考されたがあるが旧社格文化財に焼失

内容見本

畝傍山東北陵
うねびやまのうしとらのすみのみささぎ

第百二十四代 昭和天皇

第百二十四代 昭和天皇

しょうわてんのう

御名：裕仁(ひろひと) 迪宮(みちのみや)
所在：東京都八王子市長房町 武蔵野墓地

大正天皇嘉仁を父、九条節子(さだこ)を母として明治三十四(1901)年4月生。大正五(1916)年立太子礼。昭和三年(1928)年28歳で即位。昭和六十四(1989)年1月7日、87歳で崩御。

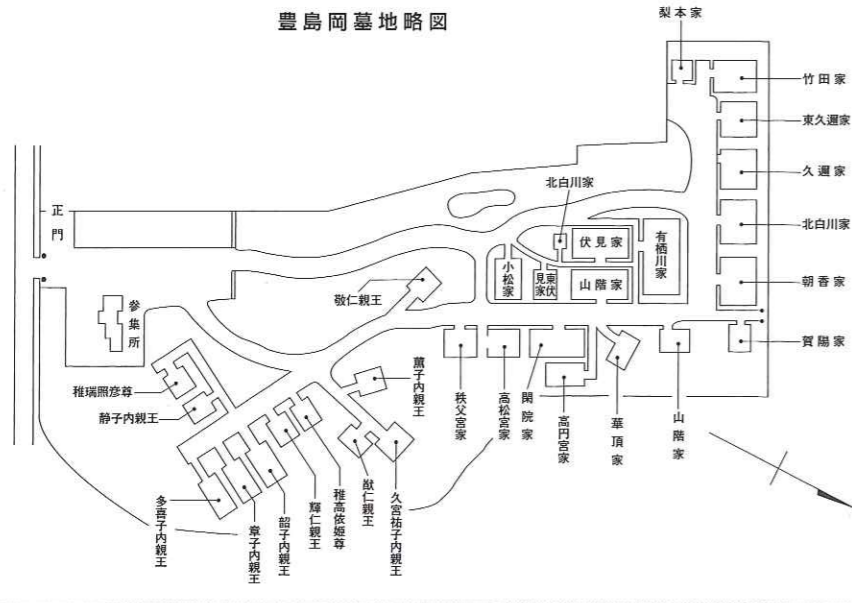
自然の風物を愛する学者肌の温厚な人柄であ



武蔵野陵
むさしののみささぎ

ったが、有史以来の激動の時代に翻弄され、大不況、クーデター、打ち続く戦乱、開国以来初めての対外戦争の敗北、外国による占領、明治以来の大日本帝国の崩壊、新憲法や民主国家の誕生と激動の年月が続き、退位することなく天皇制を継承し、国民に哀惜されながら長い一生を閉じた。史上でもっとも不運な天皇であった。

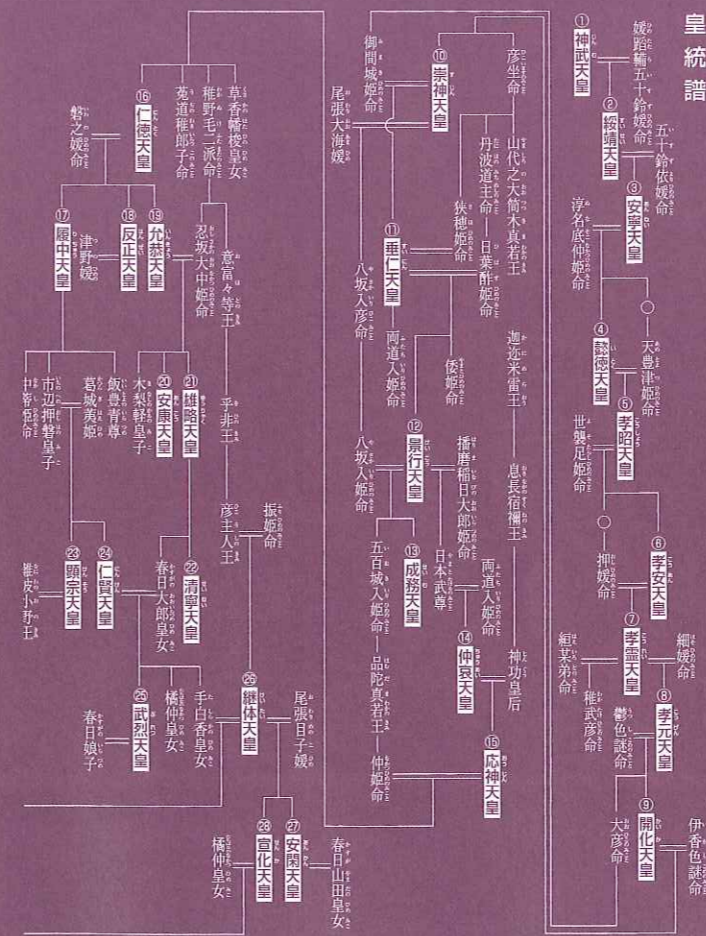
豊島岡墓地略図



(上) 京都市伏見区にある第七十六代近衛天皇の陵墓
(右) 大阪府南河内郡にある聖徳太子の墓



この図録には、皇室、皇族の墳墓としての「陵・御陵(ごりょう)・山陵(みささぎ)」と御墓(おんはか)が掲載されている。その範囲は古代の「古事記」「日本書紀」などにある神話、古代史のものから、各時代の官・公・私撰の資料や、各界の歴史家による現地探索や検証から現代の考古学界の研究にまで及ぶ。
歴史の上からは、公的な所管はすでに「延喜式」にある諸陵寮、徳川幕府の山陵奉行、平安から明治までは宮内省の諸陵寮、そして戦後は宮内庁にある書陵部の陵墓課が所管官庁として、それぞれ皇室御陵墓の公式な認定(じじょう)と管理を担当してきた。
これら所轄によって公的に治定されている陵墓と、それとは別に地方の自治体や私的団体によって伝承・保存されている伝承陵墓の二つから成り立っている。なかには地元の伝承以外には何の裏付けもない非学問的な存在もあるが、現在に至るまで残され保存の努力が続けられてきた意味から取材し記録してきた。(著者緒言より)



皇統譜(部分)



皇室陵墓

- ◎著者—寺田近雄
- ◎体裁—B5判・上製・266頁 [オールカラー]
- ◎定価—本体 20,000円+税
- ◎刊行—2011年10月
- ◎発行—寺田事務所
- ◎発売—不二出版 [取扱図書]



(上) 京都市右京区にある
第五十二代嵯峨天皇の陵墓
(左) 京都市東山区にある
第百十一代後西天皇の陵墓



目次

神代		第三十一代 用明天皇	75	第六十七代 三条天皇	131	北朝 第二代 光明天皇	202
伝承・伊弉那伊弉美命	14	第三十二代 崇峻天皇	77	第六十八代 後一条天皇	132	北朝 第三代 崇光天皇	203
天津日高彦火瓊瓊杵尊	15	第三十三代 推古天皇	79	第六十九代 後朱雀天皇	133	北朝 第四代 後光厳天皇	204
天津日高彦火火出見尊	18	第三十四代 舒明天皇	81	第七十代 後冷泉天皇	135	北朝 第五代 後円融天皇	205
天津日高彦波瀲武甕槌尊等	19	第三十五代 皇極天皇	82	第七十一代 後三条天皇	137	第百代 後小松天皇	206
彦五瀬尊	20	第三十六代 孝德天皇	83	第七十二代 白河天皇	138	第百一代 称光天皇	208
神話～飛鳥時代		第三十七代 天智天皇	84	第七十三代 堀河天皇	139	第百二代 後花園天皇	209
第一代 神武天皇	23	第三十八代 天智天皇	86	第七十四代 鳥羽天皇	140	第百三代 後土御門天皇	211
第二代 敏達天皇	24	第三十九代 弘文天皇	86	第七十五代 崇徳天皇	142	第百四代 後柏原天皇	213
第三代 安寧天皇	25	第四十代 天武天皇	87	第七十六代 近衛天皇	143	第百五代 後奈良天皇	214
第四代 懿徳天皇	26	第四十一代 持統天皇	93	第七十七代 後白河天皇	144	第百六代 正徳天皇	216
第五代 孝昭天皇	27	第四十二代 文武天皇	94	第七十八代 二条天皇	145	第百七代 後醍醐天皇	218
第六代 孝安天皇	28	奈良時代～		第七十九代 六条天皇	146	江戸時代～	
第七代 孝蓋天皇	29	第四十三代 元明天皇	96	第八十代 高倉天皇	147	第百八代 後水尾天皇	222
第八代 孝元天皇	31	第四十四代 元正天皇	97	第八十一代 安徳天皇	149	第百九代 明正天皇	225
第九代 開化天皇	32	第四十五代 聖武天皇	98	鎌倉時代～		第百十代 後光明天皇	226
第十代 崇神天皇	34	第四十六代 孝謙天皇	100	第八十二代 後鳥羽天皇	154	第百十一代 後西天皇	227
第十一代 垂仁天皇	35	第四十七代 淳仁天皇	101	第八十三代 土御門天皇	157	第百十二代 崇元天皇	230
第十二代 景行天皇	39	第四十八代 光仁天皇	102	第八十四代 順徳天皇	158	第百十三代 東山天皇	234
第十三代 成務天皇	44	平安時代～		第八十五代 仲恭天皇	162	第百十四代 中御門天皇	235
第十四代 仲哀天皇	45	第五十代 桓武天皇	106	第八十六代 後堀河天皇	163	第百十五代 桜田天皇	236
第十五代 応神天皇	47	第五十一代 平城天皇	108	第八十七代 四条天皇	164	第百十六代 桃園天皇	237
第十六代 仁徳天皇	51	第五十二代 嵯峨天皇	109	第八十八代 後嵯峨天皇	166	第百十七代 後桜田天皇	238
第十七代 履中天皇	53	第五十三代 淳和天皇	110	第八十九代 後深草天皇	169	第百十八代 後桃園天皇	239
第十八代 反正天皇	54	第五十四代 仁明天皇	112	第九十代 龜山天皇	171	第百十九代 光格天皇	241
第十九代 允恭天皇	55	第五十五代 文徳天皇	114	第九十一代 後宇多天皇	174	第百二十代 仁孝天皇	243
第二十代 安寧天皇	57	第五十六代 清和天皇	115	第九十二代 伏見天皇	175	第百二十一代 孝明天皇	245
第二十一代 雄略天皇	58	第五十七代 陽成天皇	117	第九十三代 後伏見天皇	176	明治～現代	
第二十二代 清寧天皇	59	第五十八代 光孝天皇	119	第九十四代 後二条天皇	184	第百二十二代 明治天皇	248
第二十三代 顕宗天皇	61	第五十九代 宇多天皇	120	第九十五代 花園天皇	186	第百二十三代 大正天皇	251
第二十四代 仁賢天皇	62	第六十代 醍醐天皇	122	南北朝・室町時代～		第百二十四代 昭和天皇	254
第二十五代 武烈天皇	64	第六十一代 朱雀天皇	123	第九十六代 後醍醐天皇	188	文献一覧	
第二十六代 繼体天皇	65	第六十二代 村上天皇	124	第九十七代 後村上天皇	194	索引	
第二十七代 安閑天皇	68	第六十三代 冷泉天皇	126	第九十八代 長慶天皇	195	260	
第二十八代 宣化天皇	69	第六十四代 円融天皇	128	第九十九代 後龜山天皇	197		
第二十九代 欽明天皇	70	第六十五代 花山天皇	129	北朝 第一代 光厳天皇	201		
第三十代 敏達天皇	72	第六十六代 一条天皇	130				

発売 = **不二出版**

〒113-0023

東京都文京区向丘1-2-12

電話03-3812-4433

ファクシミリ03-3812-4464

振替00160-2-94084

取扱図書